

愛知東邦大学 シラバス

開講年度 (Year)	2024年度	開講期 (Semester)	後期
授業科目名 (Course name)	専門演習IV		
担当者 (Instructors)	堀 篤実	配当年次 (Dividend year)	4
単位数 (Credits)	2	必修・選択 (Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

各自のテーマに沿って卒業研究をまとめることにより、自分の考えの伝え方、論文のまとめ方、発表のしかたを身につける。

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態 (Class form)	演習
授業の方法 (Class method)	演習形式で授業を行います。授業内容に応じて、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、フィールドワークを取り入れます。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数 (Num)	テーマ (Theme)	内容 (Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	研究の進展状況報告	夏休み中に行った各自の研究の進展状況について、グループ内で発表する。	<input type="checkbox"/>
第2回	後期の研究計画	今後の研究を進め方について計画を作成し、グループ内で検討する。	<input type="checkbox"/>
第3回	問題と目的の書き方	研究を始めるきっかけやこれまでの研究の問題点、問題意識の整理、研究の目的についての文章表現を学習する。	<input type="checkbox"/>
第4回	データの入力・整理	データの入力方法や整理の仕方について学ぶ、各自の研究にあった方法を検討する。	<input type="checkbox"/>
第5回	データの読み込み	各自の研究のデータを入力し、その読みこみ方について検討する。	<input type="checkbox"/>
第6回	方法および結果の書き方	各自の研究のデータを入力し、その読みこみ方について検討する。	<input type="checkbox"/>
第7回	データの解析と結果の分析	収集したデータを解析、分析するための適切な方法を検討する。	<input type="checkbox"/>
第8回	図表のまとめ方	図表を用いることにより結果をわかりやすいものとするまとめ方について検討する。	<input type="checkbox"/>
第9回	考察のしかた	結果から、論理的に結論を導き出し考察としてまとめることについて学習する。	<input type="checkbox"/>
第10回	考察の作成	各自の研究において考察を作成し、グループ内で討論する。	<input type="checkbox"/>
第11回	卒業研究の中間報告	卒業研究をまとめ、提出する。個々に修正すべき点を明らかにする。	<input type="checkbox"/>
第12回	卒業研究の完成	卒業研究を完成させる。	<input type="checkbox"/>
第13回	概要の作成	卒業研究を要約し概要を作成する。	<input type="checkbox"/>
第14回	卒業研究発表会用の準備	卒業研究発表会に使用するポスター、資料の準備を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	プレゼンテーションの練習とまとめ	プレゼンテーションの練習と専門演習、卒業研究を通して、反省も含めたディスカッションを行う。	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)

各自の卒業研究のテーマに沿った書籍・文献を読んでくる (2時間程度)。卒業論文を執筆するために必要だと思われる書籍・資料を読む (1時間程度)。授業後は授業での検討をもとに、各自のテーマについて文章にまとめる (1時間程度)。

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)

提出されたレポートは、添削・採点の上で返却します。

■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
---------------	--------------------	------------------

知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	各自の問題・目的を踏まえた研究計画を設定し、実行することができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	研究成果を論文として作成し、プレゼン資料を用いて分かりやすく伝えることができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	問題意識を持ってテーマを設定し、主体的に取り組み卒業研究としてまとめることができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 資料、論文のまとめり				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて資料を配布します	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		